

事業報告書

平成28年度

社会福祉法人 泰久会

障害者支援施設	仁 優 園
居宅支援事業所	樅の木ケアサービス
共同生活援助事業所	な の は な

1. 事業運営

事業種別	事業内容
第1種社会福祉事業	障害者支援施設（入所）仁優園（定員52名）
第2種社会福祉事業	障害福祉サービス事業（短期入所）仁優園（定員6名） 障害福祉サービス事業（生活介護）仁優園（定員18名） 障害福祉サービス事業（居宅介護、重度訪問介護）縦の木ケアサービス 障害福祉サービス事業（共同生活援助）なのはな（定員10名）

2. 事業別状況（平成29年3月31日現在）

【障害者支援施設 仁優園（入所部門）】

（1）利用状況

年度当初52名だった入所者数は、1年間で1名の入所及び2名の退所があり、年度末においては51名となった。

その結果、施設入所支援の利用者は延べ18,677名（前年比+479名）、生活介護の利用者数は延べ13,848名（前年比+301名）となった。

（2）年齢別の状況

（単位：人）

	30-39	40-49	50-59	60-64	65以上	計	平均年齢	最高年齢	最低年齢
男		1	5	7	17	30	64.4	77	49.5
女	1	1	4	5	10	21	63.6	78	36.9
計	1	2	9	12	27	51	64.1		
%	2.0	3.9	17.7	23.5	52.9	100.0			

（3）障害程度区分別の状況

（単位：人）

	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均区分
男	1	3	8	18	30	5.43
女	0	1	7	13	21	5.57
計	1	4	15	31	51	5.49
%	2.0	7.8	29.4	60.8	100.0	

(4) 生活状況

① 日課

7:00	起床、着替え	作業療法	週1回
7:40	朝食、整容（洗面、歯磨き等）	理学療法	必要に応じて随時
9:00	ラジオ体操、集団リハビリ、病院受診	シーツ交換	週1回
11:40 12:40	昼食、服薬、歯磨き	車いす清掃	必要に応じて随時
		コップ漂白	必要に応じて随時
13:30 16:00	入浴、日中活動、個別リハビリ	体重測定	月1回
		買い物代行	月1回+随時
17:40 18:40	夕食、服薬、歯磨き	パン訪問販売	毎週木曜日
		訪問理美容	理容・美容とも月1回
21:00	消灯、就寝	喫茶クラブ	毎週日曜日
		外出支援	随時

② 入浴

入浴回数は週2回とし、入浴日は原則以下のとおりとした。夏期においてはシャワー浴の機会を増やすなど、清潔保持に努めた。

月曜日から金曜日までの午前中は通所のご利用者が入浴されるため、入所のご利用者の入浴は午後からとしている。

男性：火曜日及び金曜日、水曜日及び土曜日

女性：月曜日及び木曜日

③ 外出

職員が足り苦しい状況ではあったが、できるかぎり外出の機会を設けるよう努めた結果、今年度は下記のとおり実施することができた。

インフルエンザ等の感染防止や体調管理の観点から、原則として冬季（12月から3月まで）における外出支援は行わなかった。

なお、個人的な外出や外泊については届出制による個人の自由としているが、冬期についてはインフルエンザ等の感染防止の観点から、マスク着用のご協力をお願いした。

実施月	行き先（内容）
平成28年4月	・イオン五條店（買い物）
5月	・奈良公園、イオンモール大和郡山店（遠足） ・イオン五條店（買い物）
6月	・インスタントラーメン発明館、エキスポシティ、USJ（1泊旅行） ・イオン五條店（買い物） ・得得うどん御所店（外食）
7月	・京セラドーム大阪（プロ野球観戦） ・イオン五條店（買い物）
8月	・イオン五條店（買い物）
9月	・カラオケ CLUB DAM 橋本店（カラオケ） ・京セラドーム大阪（プロ野球観戦）

実施月	行き先（内容）
	・ イオン五條店（買い物）
10月	・ イオン五條店（買い物）
11月	・ 羅い舞座、やよい軒、オークワ御所店（大衆演劇、外食、買い物） ・ 大阪文化館、天保山渡船場（恐竜博） ・ 谷村新司トーク&ライブ（五條市上野公園総合体育館） ・ 五條市立阿太小学校 出前講座（小学生との交流）

④ リハビリテーション

毎週月曜日から金曜日までの朝8時45分から10時30分までの45分間、作業療法士の指導により活力ある1日を過ごせることを目標に、発生練習、ラジオ体操、棒体操などの体を動かす内容を中心に集団リハビリを実施した。

午後からはリハビリテーション実施計画書に基づく個別リハビリの時間とし、各ご利用者の希望に応じて作業療法士によるビーズ手芸、塗り絵、編み物等の創作活動やペグボード等を用いた運動機能維持訓練のほか、理学療法士による歩行訓練やストレッチ運動等を実施した。

また、月2回程度、ご利用者の嚥下状態について言語聴覚士による確認を行い、専門的な観点から生活支援員に適切な食事介助の方法（食事の際の姿勢、食材の刻み具合、トロミ具合等）を指導してもらうほか、毎週月曜日から金曜日までの昼食前には生活支援員による口腔体操を行うなどして、ご利用者が食事をしやすい環境の整備に努めた。

⑤ 日中活動

毎週月曜日から金曜日まで、日中活動専門支援員1名が中心となり実施した。日中活動の主な内容は概ね以下のとおり。

- ・ 美術（絵画、制作等） ・ DVD鑑賞 ・ カラオケ ・ 喫茶
- ・ クロスワードパズル ・ お菓子作り ・ すごろく ・ 書道
- ・ テーブルボーリング ・ 坊主めくり

⑥ 行事等

実施月	行事名
平成28年4月	・ 笑顔満祭2016
5月	・ バーベキュー
6月	・ 1泊旅行
7月	・ 宇智野保育所の子どもたちとの交流会 ・ カラオケ大会予選
8月	・ 夏祭り
10月	・ 体育祭
11月	・ 五條市文化フェスティバル作品出展 ・ 五條市立阿太小学校 出前講座
12月	・ クリスマス会 ・ カラオケ大会決勝戦
1月	・ 新年茶話会 ・ 書初め

実施月	行事名
平成 29 年 2 月	・ 節分の豆まき

(5) 健康管理

嘱託医（内科）による診察（毎週木曜日）及び年 2 回の健康診断のほか、泌尿器科医による往診（毎週金曜日）、歯科医による往診並びに歯科衛生士による口腔ケア（随時）、協力医療機関（南奈良総合医療センター）への定期受診等により体調の維持に努めた。

突発的な事案については嘱託医及び協力医療機関への受診で対応したが、ご利用者の加齢による身体機能の低下とともに、病状発生の頻度がかかなり増えているのが実情である。

また、管理栄養士が栄養ケア・マネジメント（アセスメント、栄養ケア計画、スクリーニング）に基づく栄養指導等をご利用者に直接行なったり、栄養補助食品等を活用することで、少しでもご利用者が良い栄養状態を保てるように努めた。

(6) 食事の提供

管理栄養士が栄養ケア・マネジメント（アセスメント、栄養ケア計画、スクリーニング）に基づき、ご利用者の適切な栄養管理ができるように努めた。

給食を考える会（毎月第 1 火曜日開催）では、会の発足から当面の間は管理栄養士が主体となって進行しており、ご利用者も管理栄養士に任せきり頼りきりといった姿勢であった。

しかし、生活の主体はあくまでご利用者であるという思いのもと、司会進行を少しずつご利用者に譲り、管理栄養士はアドバイザーという立場を取ることで、ご利用者に主体性が現れ、食事内容の検討や献立作成等を行なっていただけになった。

なお、当該会議には厨房業務委託業者の職員にも参加していただき、食事内容の質の向上に繋げることができるよう、ご利用者の生の声を聞いていただいた。

給食会議（毎月第 3 火曜日開催）では、給食を考える会で挙がり切らなかった意見やご利用者からいただいた意見、支援にあたる職員からの改善要望等を施設側・委託業者側で共有を図り、ご利用者の皆さまに喜んでいただける食事が提供できるよう心掛けた。

ご利用者の嚥下状態については、言語聴覚士による嚥下状態の確認を行ったうえで、ご利用者それぞれの嚥下状態に適した形態での食事を提供した。

対象となるご利用者には、医師の指示書に基づき糖尿病食等の療養食を提供した。

(7) 防災

入所部門・通所部門・グループホームの合同訓練とし、10月及び3月に総合訓練（避難訓練、通報訓練、消火訓練）を実施し、内1回は夜間を想定した訓練とした。

(8) 防犯カメラの設置について

外部からの不審者の侵入に対する防犯対策として、奈良県より補助金を受け防犯カメラ 5 台及びモニター 1 台（総額 756,000 円、うち補助金 567,000 円）を設置した。あわせて、刺又 5 台を導入した。

(9) 会議

ご利用者の支援内容等に関する会議のほか、年度末から人事考課制度の導入に向けた検討を開始した。

会議名	内 容	参加者
運営会議 (1回/月)	<ul style="list-style-type: none"> ・部門を跨ぐ連絡事項等の共有 ・行事の確認 ・審議事項の検討 ・外部研修のフィードバック 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長、事務長、事務次長 ・看護師、管理栄養士、作業療法士 ・サービス管理責任者 (入所、通所、グループホーム) ・サービス提供責任者(居宅介護)
全体会議 (1回/月)	<ul style="list-style-type: none"> ・入所部門の生活支援員間での情報共有 ・支援内容の検討 ・介護技術等の研修 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス管理責任者 ・入所部門の生活支援員
給食会議 (1回/月)	<ul style="list-style-type: none"> ・給食内容に対してご利用者からいただいた意見の共有 ・支援者としての要望事項の共有 ・委託業者からの要望事項の共有 ・行事の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長、管理栄養士 ・サービス管理責任者 (入所、通所、グループホーム) ・委託業者の管理担当者、調理師、管理栄養士
プロジェクト会議 (2回/月)	<ul style="list-style-type: none"> ・人事考課制度の導入に向けた検討(大枠の検討) 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長、事務長 ・外部コンサルタント
ケア会議 (随時)	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の作成、見直し等 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス管理責任者(入所) ・看護師、管理栄養士、作業療法士

(10) 苦情の内容及び結果の公表

件数	主な苦情内容		対応及び解決方法
3件	ご利用者	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者が個人的に使用されているネブライザーが故障したため、夜勤の職員に「施設の分を貸して欲しい」と相談したところ、当該職員は「施設にはない」との回答であった。 当該ご利用者が「以前にも施設の分を借りたことがある」と訴えたが、それでも当該職員は「施設にはない」の一点張りであった。 その時の態度も上から押しつけるような言い方であり、また相手の話を聞き入れる態度ではなかったことに不快を感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス管理者同席の下、当該職員より当該ご利用者に対して、不快感を与えるような態度を取ったことに対して謝罪した。 また、当該職員については、他のご利用者に対してもその態度や言動に不快を感じる場面が多く見て取れると当該ご利用者より指摘があったので、その旨を伝えて注意を促した。
	ご利用者	<ul style="list-style-type: none"> ・当該ご利用者が個人的に使用しているネブライザーが故障するのは、職員の取り扱い方にも問題があるように思う(特に男性職員の取り扱いが雑なように感じる)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当該ご利用者がそのように感じていらっしゃるということを職員間で共有するとともに、特にご利用者の私物を取り扱う際には細心の注意を払うよう、改めて周知徹底した。

件数	主な苦情内容		対応及び解決方法
	ご利用者	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が移乗介助中に転倒した際、当該職員から「車イスのブレーキの効きが悪いからだ」と言われ、「自分は悪くない」という態度を取られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス管理者同席の下、当該職員より当該ご利用者に対して、不快感を与えるような態度を取ったことに対して謝罪した。

【短期入所事業 仁優園】

(1) 利用状況

年間延べ利用者数は512名（稼働率23.4%、前年度比+11.9%）であった。

(2) 年齢別の状況

(単位：人)

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-64	計	平均年齢	最高年齢	最低年齢
男	2		1			3	32.0	46	21
女	1			2	2	5	52.4	60	27
計	3		1	2	2	8	44.8		
%	37.5		12.5	25.0	25.0	100.0			

※ 上記の実人数については、平成29年3月31日時点で、今後も継続して利用予定のある利用者についてのみ集計したものである。

(3) 障害程度区分別の利用状況（延べ人数）

(単位：人)

区分	利用月												計	%
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
3	3	9	4	4	4	4		6	4	4		4	46	9.0
4	30	31	40	29									130	25.4
5					2	7	5	2	2	2	2	2	24	4.7
6	31	33	12	10	42	60	45	37	33	2	6	1	312	60.9
計	64	73	56	43	48	71	50	45	39	8	8	7	512	100.0

(4) 苦情の内容及び結果の公表

なし

【生活介護事業 仁優園（通所部門）】

(1) 利用状況

年間営業日数は259日、年間延べ利用者数は3,489人（13.5人/日、稼働率74.8%、前年度比+7.9%）であった。

(2) 年齢別の状況

(単位：人)

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-64	計	平均年齢	最高年齢	最低年齢
男	2	4	3	2	2	13	43.4	63	21
女	2	1	1	1	2	7	44.4	61	27
計	4	5	4	3	4	20	43.8		
%	20.0	25.0	20.0	15.0	20.0	100.0			

(3) 障害程度区分別の利用状況（延べ人数）

(単位：人)

区分	利用月												計	%
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
3	3	8	5	8	9	9	8	9	12	6	11	10	98	2.8
4	66	44	44	42	42	44	41	44	44	29	40	45	525	15.0
5	13	34	34	34	37	33	33	36	35	23	32	35	379	10.9
6	208	223	219	214	228	212	207	222	216	154	177	207	2,487	71.3
計	290	309	302	298	316	298	289	311	307	212	260	297	3,489	100.0

(4) 障害程度区分別の状況

(単位：人)

	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均区分
男	1	1	2	10	14	5.50
女		1		5	6	5.67
計	1	2	2	15	20	5.55
%	5.0	10.0	10.0	75.0	100.0	

(5) 事業内容

- ① 実施日 毎週月曜日から金曜日まで（祝日も営業）
- ② 営業時間 午前9時30分から午後3時30分まで
- ③ デイリープログラム
 - 9:30 利用者到着、水分補給、朝の会（体操、発声、合唱等）
 - 10:30 入浴
 - 12:00 昼食
 - 13:30 レクリエーション、創作活動等
 - 15:15 水分補給
 - 15:30 利用者送迎開始
- ④ 昼食 本体入所施設と共通メニュー
- ⑤ 送迎 車イス対応車5台

(6) 食事の提供

給食会議（毎月第3火曜日開催）では、ご利用者からいただいた意見や支援にあたる職員からの改善要望等を施設側・委託業者側で共有を図り、ご利用者の皆さまに喜んでいただける食事が提供できるよう心掛けた。

なお、蕎麦等のアレルギー症状を起こす食材がある場合は、代替食品で対応した。

(7) 防災

入所部門・通所部門・グループホームの合同訓練とし、10月及び3月に総合訓練（避難訓練、通報訓練、消火訓練）を実施し、内1回は夜間を想定した訓練とした。

(8) 会議

会議名	内 容	参加者
運営会議 (1回/月)	<ul style="list-style-type: none">・部門を跨ぐ連絡事項等の共有・行事の確認・審議事項の検討・外部研修のフィードバック 等	<ul style="list-style-type: none">・施設長、事務長、事務次長・看護師、管理栄養士、作業療法士・サービス管理責任者 (入所、通所、グループホーム)・サービス提供責任者（居宅介護）
給食会議 (1回/月)	<ul style="list-style-type: none">・給食内容に対してご利用者からいただいた意見の共有・支援者としての要望事項の共有・委託業者からの要望事項の共有・行事の共有	<ul style="list-style-type: none">・施設長、管理栄養士・サービス管理責任者 (入所、通所、グループホーム)・委託業者の管理担当者、調理師、管理栄養士

(9) 苦情の内容及び結果の公表

なし

【居宅支援事業所 縦の木ケアサービス】

(1) 利用状況

1年間の延べ訪問回数は1,737回（前年比+75回）、延べ利用時間数は2,727.5時間（前年比+76.5時間）であった。なお、重度訪問介護の利用実績はなかった。

(2) 年齢別の状況

(単位：人)

	30-39	40-49	50-59	60-64	65以上	計	平均年齢	最高年齢	最低年齢
男	1	1	3		1	6	51.5	65	34
女	1	1	1	2		5	51.0	61	30
計	2	2	4	2	1	11	51.3		
%	18.2	18.2	36.3	18.2	9.1	100.0			

※ 上記の実人数については、平成29年3月31日時点で、今後も継続して利用予定のある利用者についてのみ集計したものである。

(3) 会議

会議名	内容	参加者
運営会議 (1回/月)	<ul style="list-style-type: none"> ・部門を跨ぐ連絡事項等の共有 ・行事の確認 ・審議事項の検討 ・外部研修のフィードバック 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長、事務長、事務次長 ・看護師、管理栄養士、作業療法士 ・サービス管理責任者 (入所、通所、グループホーム) ・サービス提供責任者 (居宅介護)
検討会議 (1回/月)	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容の検討 ・マニュアルの検討 ・業務改善に係る検討 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供責任者 (居宅介護) ・訪問介護員

(4) 苦情の内容及び結果の公表

なし

【共同生活援助事業所 なのはな】

(1) 利用状況

年度当初8名だった入所者数は、1年間で1名の退所があり、年度末においては7名となった。
年間延べ利用者数は2,747人(7.5人/日、稼働率75.3%、前年度比+5.7%)であった。

(2) 年齢別の状況

(単位：人)

	40-49	50-59	60-64	計	平均年齢	最高年齢	最低年齢
男	1	2	1	4	54.8	63	46
女	1	1	1	3	55.0	61	48
計	2	3	2	7	54.9		
%	28.6	42.8	28.6	100.0			

(3) 障害程度区分別の利用状況

(単位：人)

	区分4	区分5	区分6	計	平均区分
男	1	1	2	4	5.25
女	1		2	3	5.33
計	2	1	4	7	5.29
%	28.6	14.3	57.1	100.0	

(4) 食事の提供

本体施設の厨房を活用し、グループホーム内での調理は行わなかった。

グループホームには管理栄養士の配置はないが、衛生管理の観点から本体施設に配置される管理栄養士が衛生指導等を行なった。

給食会議(毎月第3火曜日開催)では、ご利用者からいただいた意見や支援にあたる職員からの改善要望等を施設側・委託業者側で共有を図り、ご利用者の皆さまに喜んでいただける食事が提供できるよう心掛けた。

なお、蕎麦等のアレルギー症状を起こす食材がある場合は、代替食品で対応した。

(5) 防災

入所部門・通所部門・グループホームの合同訓練とし、10月及び3月に総合訓練(避難訓練、通報訓練、消火訓練)を実施し、内1回は夜間を想定した訓練とした。

(6) 会議

会議名	内容	参加者
運営会議 (1回/月)	<ul style="list-style-type: none"> 部門を跨ぐ連絡事項等の共有 行事の確認 審議事項の検討 外部研修のフィードバック 等 	<ul style="list-style-type: none"> 施設長、事務長、事務次長 看護師、管理栄養士、作業療法士 サービス管理責任者 (入所、通所、グループホーム) サービス提供責任者(居宅介護)

会議名	内 容	参加者
給食会議 (1回/月)	<ul style="list-style-type: none"> ・給食内容に対してご利用者からいただいた意見の共有 ・支援者としての要望事項の共有 ・委託業者からの要望事項の共有 ・行事の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長、管理栄養士 ・サービス管理責任者 (入所、通所、グループホーム) ・委託業者の管理担当者、調理師、管理栄養士

(7) 苦情の内容及び結果の公表

なし